

医療安全に関する組織体制

令和 5年 6月

ふくの若葉病院
セーフティマネージャー部会

医療安全管理委員会

—— 病院長を委員長とし、医療事故等を防止し、医療事故が発生した場合の対策を協議する。

セーフティマネージャー部会

—— セーフティマネージャーチーフが統括し、インシデント事例を多角的に分析するとともに、緊急な対応・再発防止及び安全の確保について中心的な役割を担う

＜セーフティマネージャー部会の活動基準＞

1. 患者が安心して療養生活がおくれるよう、安全に配慮した医療処置、看護・介護の実施環境の調整。
2. 危険予知、危険回避能力の向上をめざす。
3. 万一、事故が発生した場合は、究明に尽力し、患者および家族に対して説明責任を果たす。
4. インシデントおよびアクシデントの共有を図り、システムの見直しや、再発防止に活かす。

＜セーフティマネージャーの具体的な役割＞

1. アクシデント・インシデント事例の、原因分析と、再発防止対策の検討に関してリーダーシップをとり、現場スタッフへの周知徹底を図る。
2. 他部署において、情報の共有を図る。
3. 毎月「安全パトロール」を実施し、安全意識の高い風土づくりに努める。
4. 職員に対して、医療安全の向上をめざした研修会を計画し、実施する。

院内研修会

令和 5年 6月

ふくの若葉病院
セーフティマネージャー部会

- ・医療安全についての院内研修を、年2回開催しています。
- ・医療安全の知識、技術、意識を高める目的で、全職員を対象に実施しています。
- ・できるだけ、全職員が参加できるように、日程をずらして同じ研修会を3～4回開催しています。
- ・講義形式だけでなく、受講者を巻き込んだクイズ方式も取り入れながら、興味を持ってもらい、質の高い研修になるよう工夫しています。

令和4年度 前期研修 「いま、あらためて考える説明と同意」

～コロナ禍で死亡した患者と、その家族への関りから考える～

(令和3年 11月 25日、29日、30日 15:30～16:00)

< 研修のねらい >

- ・説明と同意を、患者・家族目線で考える
- ・説明の可視化により、理解・確認を確実にする
- ・医療メディエーターの視点を持ち、意識して対応する



講習後の意見交換では、「コロナ禍で患者と家族との関りが減っているため、医療者と家族との間に価値の相違が生じている。ジレンマを感じている。」「家族と連絡を取り合うなかで、思いを傾聴し、理解を確認しながら、説明していく事が安心につながる。」などの意見が聞かれました。

これを機に、**直接面会が拡大**していきました。

院内研修会

令和 5年 6月

ふくの若葉病院
セーフティマネージャー部会

令和4年度 後期研修 「思い込みによるインシデントを防ぐために」

(令和5年1月 18日、20日、30日 15:30~16:00)



講義だけでなく、クイズ方式を交え、
興味を持ってもらえる研修を行いました

講習会後のアンケートの結果、「確認行動が大切であり、ルール化が大切である。」「思い込みの怖さがわかった。」「日頃から良好なコミュニケーションを図り、事故防止に努めて行きたい。」などの意見がありました。

院内研修会

令和 5年 6月

ふくの若葉病院
セーフティマネージャー部会

その他、今までに開催した研修会の一例

・院内暴力等、困難事例への対応研修

・・・実際に当院で起こった不審者事案等を基に対応の問題点や正しい対応方法についてグループワークで確認しました。

・苦情対応から学ぶ医療安全と接遇

・・・再度、苦情対応についての基本的な考え方を伝え、実際に病院満足度調査で寄せられた苦情を事例にグループワークを行い、より良い接遇をするために意見交換を行いました。

・過去の事例から学ぶ医療安全

・・・過去の事例をあげて、なぜ今安全パトロールで確認している項目になっているかなどを振り返ることで、事故防止に努めています。

令和5年度研修会予定

令和5年7月 『人は間違える！正しい確認で、ヒューマンエラーに起因する事故を無くそう』 前編

令和5年10月 コードE模擬訓練

令和6年1月 『人は間違える！正しい確認で、ヒューマンエラーに起因する事故を無くそう』 後編

グループワークを予定

「安全パトロール」の活動紹介

令和 5年 6月

ふくの若葉病院
セーフティマネージャー部会

【目的】

安全パトロールを継続し、安全意識の高い風土づくりに活用できる。

【方法】

各病棟において毎月1回、特に患者さんの療養環境を中心に決められたチェック項目を点検・評価していく活動です。

チェック項目の例

- ・ベッドコントローラーが表示通りに掛かっているか
- ・ベッドの電源コードは床に垂れ下がりなく、所定のフックに掛けられているか
- ・入浴前点検表に沿って、始業前点検の実施がされているか など

当該部署職員と、他の部署職員がペアになって実施し、新鮮な視点で点検することで、課題や見落としの発見につながり、意識を高めることにつながっています。

年に2回、厨房の安全パトロールも実施しています。
この取り組みにより、インシデント発生がパトロールを行う前より、減少しました。

今後も、安全に提供できるよう活動していきます

